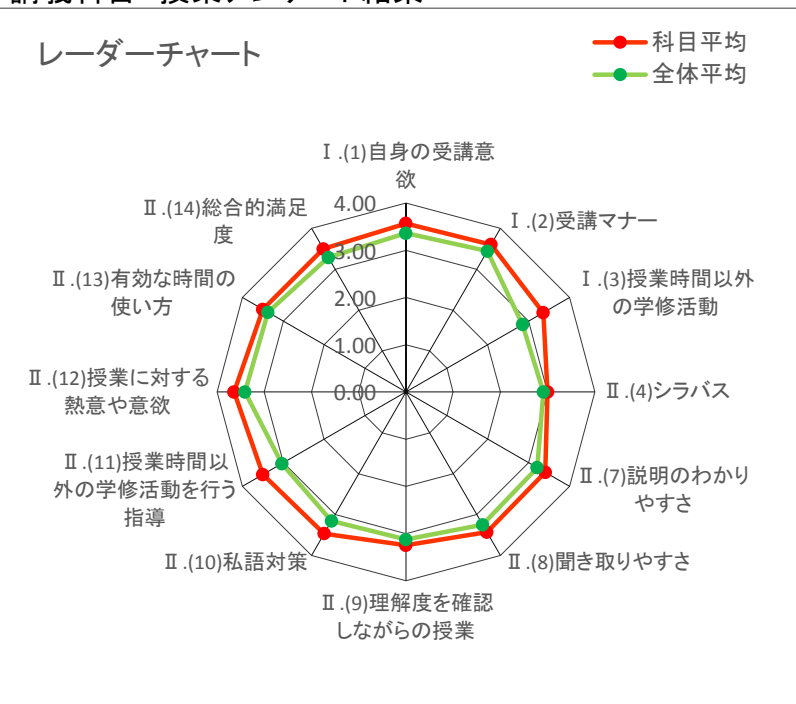
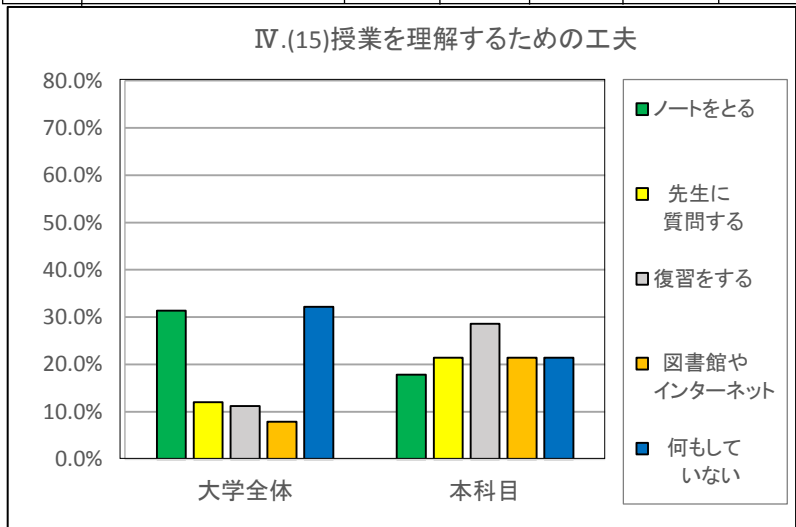


講義科目 授業アンケート結果



※レーダーチャートの平均は4段階評価 4(そう思う)、3(ややそう思う)、2、(あまりそう思わない)、1(そう思わない)

〈※複数選択可項目〉	ノートをとる	先生に質問する	復習をする	図書館やインターネット	何もしていない
IV.(15) 授業を理解するための工夫	17.9%	21.4%	28.6%	21.4%	21.4%



	設問No	科目平均	全体平均
受講姿勢	I.(1)	3.57	3.36
	I.(2)	3.61	3.45
	I.(3)	3.36	2.86
受講内容・方法	II.(4)	3.00	2.91
	II.(5)		
	II.(6)		
	II.(7)	3.41	3.21
	II.(8)	3.43	3.25
	II.(9)	3.25	3.13
	II.(10)	3.46	3.16
	II.(11)	3.50	3.04
	II.(12)	3.64	3.41
	II.(13)	3.50	3.37
	満足度	II.(14)	3.50

	本科目平均	全体平均
自身の受講姿勢	3.51	3.22
I.(1)~(3)		
講義内容・方法	3.40	3.18
II.(4)~(13)		
総合的満足度 III.(14)	3.50	3.29

アンケート結果に対する教員のフィードバックシート

授業年度	2015年度 前期
時間割番号	14107
科目名	社会科指導法
教員名	

①授業計画の達成度について
 このクラス全員が教員を志望しており、目的が明瞭であるので担当者としては、授業の進行がやりやすく、授業計画の大半を消化できたと考えている。

②授業の進め方について
 授業の進め方については、双方向性の授業を心掛けた。90分中45分を学生1人の模擬授業に使い、残りの45分を児童役(受講生の1/2)は受講した感想を、参観者役(受講生の1/2)は「模擬授業評価表」の評価項目に従って5点満点で記入する。翌週には、児童役と参観者役の二グループに分けて、学生の司会の元に反省会を開き、残り15分程度で、担当者がコメント(授業評価)を行った。
 7週目からは、学生も授業の進め方を習得したので、2週にわたって実施していた方法を、1週の90分で全てを取り仕切った。この方法により、多くの学生に模擬授業を体験させることができた。

③アンケート全体を通しての自己評価、及び、今後の授業改善計画について
 模擬授業に取り組む姿勢は非常に真摯で真面目であった。学生の満足度も高いものがあったようである。